

自らの声をシェアする街歩きコンシェルジュ (LOOVIC株式会社)

ナビガイド用の歩行支援アプリを開発

協働事業者

- ・ れいんぼう川崎

総事業費

593,174円

補助金交付額

296,587円



実証実験



実証実験



実証実験

実施成果

- ・ 空間認知に課題を抱える当事者向けの外出ケアアプリの実証実験を市内の福祉施設と共同で行い、無事実証することができた。
- ・ 当事者の移動時には、ケアする側による危険場所等の度重なる声掛けが必要であるが、本アプリはケアする側、当事者両方の負担を軽減できる仕組みとなっている。
- ・ 事前にアプリ内に、ケアする側による危険場所等の声掛けを収録しておくことで、当事者はケアする側と一緒に外出しているかのような声掛けを受けられるため、自立した外出訓練となる。

今後の方向性

- ・ 徒歩に限らず電車・バス、車など様々な交通手段の利用時においても、当事者だけでなく、誰もが使うことができることを目指している。
- ・ 日常生活において、不慣れな場所ではスマホの地図の見ながら歩くことが多いが、ガイド役がそばにいと地図を見ずに移動することが可能であることから、本アプリはその役割を担うものである。
- ・ また、地元住民の誰もがガイド役になれるため、多様な目的で本アプリを利用することができ、新たな移動社会が生まれる。